

六齋の発展に貢献いただき心より感謝申し上げます

幾多の困難 を乗り越えて

吉祥院六齋保存会会長 木村 俊典



Toshinori Kimura

吉祥院六齋歴史研究会「獅子の如く創刊号」の発刊、誠にありがとうございます。

私も研究会の副代表という立場ですが、六齋の歴史的意義を広く伝える活動は大変重要であると考えております。

六齋念仏踊りは、私たちの祖先が幾多の困難を乗り越え、今日まで守り続けてきた京都の代表的な民俗芸能の一つであり、国の重要無形民俗文化財に指定を受けた民俗芸能としての高い評価を得ております。この度、六齋歴史研究会石田房一代表が「獅子の如く創刊



号」として、吉祥院六齋の歴史を大変わかりやすくまとめていただきました。

吉祥院六齋念仏踊りの発展に多大な貢献をいただき心より感謝申し上げます。今日まで引き継いで参りました私たちにとりましてもこのうえない喜びであります。この「獅子の如く創刊号」が吉祥院の六齋念仏の理解を深めていただくために、少しでもお役立ていただければ幸いです。

近年の急激な社会、経済的事情の変化に伴い、伝統芸能の保存、継承には、担い手問題など年々困難な問題を抱えております。

研究会では、六齋の保存活動はもちろんのこと、子どもたちに六齋の保存活動を通して、様々な問題意識を学んでもらう、地域教育にも取り組んでいただいております。さらには、六齋保存会や地域の方々、学校などと連携を取り、様々な文化活動を取り組んで行くために、地域全体で六齋念仏踊りを継承、活性化できる環境を整えていただいております。

私たち六齋保存会といたしましても、さらなる技術の伝承、人材育成に努めて参る所存であります。

「獅子の如く創刊号」の編集、構成に際し、石田房一代表をはじめ、ご協力をいただいた研究会会員並びに関係各位に心からお礼を申し上げます。

今後とも皆様方におかれましても温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。



岩見重太郎を演じる木村俊典会長